

函数ノ程度

掛谷由一

香ル察ノタガ 間  
 ラス観念ヲ化スル  
 化ラ場計重タノス  
 $f(x)$  變ノ其デチシ  
 数デモ 教即表  
 函内フル定キテ  
 夕間云趣ノト  
 レ区トテ箇ルハ  
 ヲノ度シニア度  
 蓋此程ニノテ程  
 定ガノ々上数ノ  
 上画シカガト  
 此烈ト論ルテ  
 間ト動イハニテ  
 区ト度度待無ク  
 ハ具シ釋不絶ス

$$\text{Max } f(x) \quad \text{Min } f(x)$$

$a \leq x \leq b$        $a \leq x \leq b$

現場間考テ考ハ思  
 ハル区ヲ等見ラ方  
 えシ各動又ト限ヘ  
 イラテ振ニ度上考  
 シセシ全更ニモ味  
 宜用分謂イラニ興  
 モ利細所限ニ様シ  
 ル々ラ即宜上何種  
 ス辱問即モ如採  
 トテ区限ルニ他特  
 義シ場合ト見  
 定稱場ノトハ  
 ノ動ト和意テ  
 至振此ノ至シ  
 テノル極之參シ  
 以上ノテ宣テハ  
 以上ノテ宣テハ  
 以上ノテ宣テハ

同ノ時  
 トズル  
 ス生  
 下ガ  
 ラ題  
 義同  
 定ノ  
 定ノ  
 ツノ  
 一ツ  
 テシ  
 シテ  
 對附  
 二於テ

$x_1, x_2, \dots, x_n$

(79)

$f(x_1), f(x_2), \dots, f(x_n)$   
 加減ハラレテ、ル云コナ場合ニ斯カ  
 函數ノ中カト云フ度ノ最ルナルモノハ如  
 テ補函數トスル所ノ通種ノ歪度ハ何レ  
 以下ニ等シクノ興味ト意義トニラ感ズ  
 モ夫自身ニハ多クノ隨伴スルシイ  
 ルテアル倒ナモノトナラアル。  
 非等判ラ仰ギクイノテアル。

變數ノツノ値 $x$ ガ他ノ値 $y$ ニ對シテ  
 モツ函數ノ變化即チ $f(x) - f(y)$ ノ距  
 $|x - y|$ ト共ニ減少スバキヲ則ト考ヘ前  
 $|x - y|$ ノ乘ニ比例シ後者ノマニ反比例ス  
 量

$$V(x, y) = \left\{ \frac{f(x) - f(y)}{x - y} \right\}^2$$

ヲニ莫 $x, y$ ニ對スル $f(x)$ 變動ト見做ス  
 ソコテ $y$ ノオラ圖定シテ $x$ ノ方ヲ動カシ  
 角テ $x$ ニ對スル前記變動ノ平均ヲ取リ  
 バ、ソレニ比例スル量トシテ

$$I(y) = \int_a^b \left\{ \frac{f(x) - f(y)}{x - y} \right\}^2 dx \quad (5)$$

カ得ヲル之ヲ一處 $y$ ニ對シテモツ $f$   
 )變動ト見做ス茲ニ $y$ ヲ取リ其レヲ動カ  
 シテ此 $I(y)$ ノ最大値ヲ取リ其レヲ以テ  
 係ノナイ $f$ ノ變動ト見做シ  
 定度ト定義スル即チ

$$D_f = \max_{a \leq y \leq b} I(y) = \max_{a \leq y \leq b}$$

$$\int_a^b \left\{ \frac{f(x) - f(y)}{x - y} \right\}^2 dx \quad (6)$$

ト定義スルノデアル

2 亦一定義ノ補間問題

前條ノ定義ニ從ツテ(3)ノ函数値ガ豫メ

$$f(x_1) = z_1, f(x_2) = z_2, \dots, f(x_n) = z_n \quad (7)$$

トナルコトガ知ラシテ其ル場合ノ最小歪度ノ函数如何ト云フ

補間問題ガ生ズル然ルニ此解決方法ガ私ニハ今日マデ知ラナイ

例ヘバ最簡ナル場合トシテ  $n=2$  トシ

$$f(x) = \alpha \quad f(x) = \beta \quad (8)$$

ナル性質ヨモツモノノ内デ歪度最小ナル函数ハト聞ヘバ、えハ恐ラク一次式ニ相違ナイト思ハレルノデアルガ此一事サハモ私ニハ未ダ証明スルコトガ出来ナイノデアル。

此事ニ南ジテ得ラレターツノ知識トシテロクノ如キ定理ガ証明ナシタ

先ズ準備トシテ、 $x$ ヲ固定シテ函数値  $f(x) = z$  ヲ変化シタ場合ノ式

$$\sum_{k=1}^n \left\{ \frac{f(x) - f(x_k)}{x - x_k} \right\}^2 = \sum_{k=1}^n \left\{ \frac{z - z_k}{x - x_k} \right\}^2 \quad (9)$$

ヲ最小ニシラシメルニハ微分學ノ示ス如ク、(9)式ヲ $z$ デ微分シタモノヲ0ト置タ方程式

$$\sum \frac{z - z_k}{(x - x_k)^2} = 0 \quad (10)$$

ヲ解テ得タ $z$ ノ値

$$z = z_0 = \frac{\sum \frac{z_k}{(x - x_k)^2}}{\sum \frac{1}{(x - x_k)^2}} \quad (11)$$

ヲ採リバ宜シイ之ヲ(9)式ノ $z =$ 代入シタモノガ(9)式ノ最小値デアル其レハ $x$ ノ函

(21)

数デアルカウ其レヲ $F(x)$ デ表ハス。ソコ  
デ私ノ得タ定理トイフノハ次ノ如キモノ  
デアル。

條件(7)ヲ満足スル函数 $f(x)$ ノ歪度 $D_f$ ハ

$$D_f \geq \frac{1}{\pi} \int_a^b F(x) dx \quad (12)$$

ナル下方ノ制限ヲモツ。

此事ノ証明ハ次ノ如ク簡單デアル。即チ

$$\begin{aligned}
D_f &= \text{Max}_{a \leq y \leq b} \int_a^b \left\{ \frac{f(x) - f(x_k)}{x - y} \right\}^2 dx \\
&\geq \text{Max}_{1 \leq k \leq n} \int_a^b \left\{ \frac{f(x) - f(x_k)}{x - x_k} \right\}^2 dx \\
&\geq \frac{1}{n} \int_a^b \left[ \sum_{k=1}^n \left\{ \frac{f(x) - f(x_k)}{x - x_k} \right\}^2 \right] dx \\
&= \frac{1}{n} \int_a^b \left[ \sum_{k=1}^n \left\{ \frac{f(x) - z_k}{x - x_k} \right\}^2 \right] dx \\
&\geq \frac{1}{n} \int_a^b F(x) dx. \quad (13)
\end{aligned}$$

例ハバ條件(8)ヲ考ヘテ特ニ簡單ノタメニ

$$a=0, b=1, \alpha=0, \beta=1 \quad (14)$$

ナルモノトスレバ計算ノ結果容易ニ

$$F(x) = \frac{1}{x^2 + (x-1)^2} \quad (15)$$

ガ得ラレ從テ

$$\int_0^1 F(x) dx = \frac{\pi}{2} \quad (16)$$

トナリ上ノ定理ニヨリテ此場合ニハ

$$D_f \geq \frac{\pi}{4} \quad (17)$$

ガ得ラレル。若シ  $f(x)$  ヲ一次式トスレバ  
條件ヨリシテ当然

トナリ其時  $f(x) \equiv x$  (18)

トナツテ正  $Df = 1$  (19)

実ハ此ノ場合ニハ(17)ノベリ

ガ成立シ従テ(17)ガ補同ノ要求ニ適スル(而  
モ只一ツノ函數デアアルト想像サレルノデ  
アルガ前迹ノ如ク未ダ其確証ヲ得ナイノ  
事)

3. 第二ノ定義

カラ大イニ汎異リ  
地ヨ見ヨ同カ  
見ヨ同カ  
区ハ考ル  
原因ニ布  
分トスル  
カ  
ラ  
大  
イ  
ニ  
汎  
異  
リ  
度  
数  
分  
上  
ノ  
度  
数  
分  
上  
ト  
シ  
ガ  
形  
モ  
ト  
シ  
ガ  
形  
既  
知  
ナル  
形  
於  
テ  
相  
當  
ス  
ル  
強  
結  
果  
ト  
ス  
レ

布ノ各点ガアル  
場合  $K(x, y)$  於テ相  
當スル強  
結果トスレ

$$f(x) = \int_a^b K(x, y) g(y) dy$$
 (21)

ナル式ヲ表ハサレル蓋デア  
ル如キ或範圍ノ  
(21) テミラ考ヘルコトトシ  
フ、 $g$  ノミ

(23)

ヲ原因函数ト呼ビ $g =$ 対シテ $f$ ヲ結果函数ト呼ブコトニ因 $g$ ノ振動ヲ採ル  
 数トテアル。即チ

$$D_f = \max_{a \leq y \leq b} g(y) - \min_{a \leq y \leq b} g(y) \quad (22)$$

ヲ以テ $f$ ノ歪度トアルト定義スルノデア  
 ル。常數ノ歪度ガ0デアルト云フ要求ヲ滿  
 タス $x$ メ $=$ ハ $K(x, y) =$ 特定ノ條件ガ必要  
 トナルガ此際ハ原因函数ノ方ガ常數トナ  
 ルコトヲ満足シテ歪度0ナル $f$ 其者ハ常  
 數タルヲ要シナイコトトスル。

#### 4. 第二定義ノ補間問題

前條ノ第二定義ヲ採用シテ隨伴スル補  
 間問題ヲ考ヘレバ條件(7)ハ

$$\int_a^b K(x_i, y) g(y) dy = Z_i \quad (23)$$

$i = 1, 2, \dots, n$

ナル形トナル。從テ $\{a, b\}$ 上 $y$ ヲ媒變  
 數トシテ表ハシ $n$ 次元空間 $(\xi_1, \xi_2, \dots, \xi_n)$   
 $\xi_2$ 内ノ曲線

$$\xi_i = K(x_i, y) \quad i = 1, 2, \dots, n \quad (24)$$

$=$ 沿テ $(y, y+dy)$ 上ニ $g(y) dy$ ヲ配置シ $n$ 場合ノ重心ノ位置ガ  
 座標

$$\frac{Z_i}{\int_a^b g(y) dy} \quad i = 1, 2, \dots, n \quad (25)$$



(25)

カ令難理  
内法固定  
其小計チノ  
へ最イヤ上  
考ヲシセズル。  
テ宜ハア  
就バ松デ  
ニMレ一オミ  
ミテメハ  
ノシ求算今  
)足ヲ計  
ル係數ヲ。  
マヲ出地ラ  
定キ実アキ  
ラ(23)如シテ  
カ件ル然フ  
ト條々件  
クラシルヲ

以上